



目次 -Contents-

1	会長・各支部長より新年のごあいさつ	2
2	講習会のご案内	6
3	平成27年度研修ツアーのご案内	7
4	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告	8
5	会議のご報告	14
6	各支部よりお知らせ	16
7	会 員 動 静	21
8	役員さんの徒然雑記	22
9	事務局よりお知らせ	24

1

会長・各支部長より新年のごあいさつ

会長 井上 精二



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、夢と希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は「建築三会による建築士・建築士事務所のための改正建築士法」講習会開催による改正建築士法の会員並びに業界全体への普及に努め、恒例の福岡県知事指定講習「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」も開催し、会員の自己研鑽と職業倫理を高め、法令遵守を目的とした講習研修会を行いました。

平成27年度建築士事務所キャンペーンには、会員の皆様の他、多くの参加者を集めました。福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技に於いては数多くの作品応募があり、河野泰治審査委員長と審査委員により厳正な審査を行い、各賞の表彰式を行うことができました。

会員委員会では、設計事務所経営者後継者問題と建築士離れによる若手の育成を考え、女性建築士の活性化と若手建築士の交流を計画し、魅力ある設計業界とするため女性部会を発足し、また青年部会は立上げ準備中です。

昨年、社会的な問題となりました杭施工の検査データの偽装及び支持地盤に届かないことが発覚した事案について国土交通省から日事連へ協力要請があり、当協会に於いても建築物所有者からの相談に対応すべく基礎施工関連相談窓口を設置しました。

今年度は福岡県建築士事務所政経研究会の立上げを検討しています。会員組織としての意見、要望など要請することを目的としています。

永年の課題であります県本部財務運営の健全化と長期的な視点による持続可能な安定化を目指して、財務上の課題を基本的方向性の転換により組織再編を検討中です。また、社会的諸問題や建築技術を先行して検討する技術委員会の創設を予定しています。

結びに、本年も引き続き会員の皆様のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げますと共に、益々のご繁栄の年となりますよう祈念いたします。



北九州支部 支部長 林 カヅ子

平成28年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には心新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。暖かい年末で過ごしやすかったのですが、雨が多く雪が少ないのも寂しい気が致します。

昨年の北九州支部の主な活動としては、

6月：西部ガスLNG基地見学会

8月：例会ボウリング大会

10月：北九州市立小学生による「児童絵画展」と入選者の表彰式

10月：「大分市美術館、大分県立美術館」への建築士会と合同研修旅行

等々開催し、無事盛会のうちに終えることが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年は役員改選の年です。世代交代で、新しい支部長のもと「魅力的な活力ある北九州支部」造りに邁進していかなければなりません。私は北九州支部長として4年が終わろうとしていますが、今後も貢献しようと思っています。

県本部の会員委員会女性部会は2年目を迎え、女性会員の交流は深まっており、会合の中では女性ならではの会話が弾みます。女性が建築業界で元気に活動できるよう、又今年発足予定の青年部会と共に若い活力を育てていきたいと思っています。何卒会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年も会員の皆様が健康でご活躍されることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



筑豊支部 支部長 古野 章

新年明けましておめでとうございます。皆様には お健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。中には、久々に年末年始をご家族とのんびりと過ごしたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。はたまた、仕方なく仕事をしたという方もおられるやもしれません。

私には娘と息子、二人の子供がおり、息子は今年就職活動の年です。進路について子供たちと話をする中で、息子が「小さい頃、家族で出かけた時にお父さんが『これはお父さんが作った(設計した)。』と話してくれるのを聞いていたから、自分も“物づくり”の仕事がしたいと思うようになった。」と言えば、娘も同様に「私もその気持ちがあったから、今の仕事を選んだ。」と言ってくれました。(ただ彼らは、設計とは関係のない進路を選んでいますが…。)

昨年は、6月に基準法の改正が施行され、我々設計事務所並びに施主共々信頼関係が結ばれる法律となりました。そこに降ってわいた3月の免震偽装問題、7月の新国立競技場の計画見直し、10月の杭偽装問題。何れにしても性善説により監理業務等を行っていた我々設計事務所は、如何すれば良いのでしょうか。最近とある建築物の杭工事において、全数立会の上確認をしているとの話があります。監理手数料にも、影響が出る事にもなりかねません。常に厳しい条件、なかなか折り合わない方向性等々、100%満足のいく仕事はそうそうできるものではないかもしれませんが、少なくとも自分や家族を裏切らない仕事をしていこう、私は物づくりに携わる一人として心掛けていきたいと思っています。

私たち設計事務所が責任のある仕事をしていくことで、地域の、福岡の、九州の、日本の安心・安全を造っていきましょう。最後になりましたが、会員の皆様、賛助会員様の本年のご多幸をお祈りします。



福岡支部 支部長 岩本 茂美

～2016～

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましてはお健やかな新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は、組織再編検討委員会において、来年度からの県本部・福岡支部統合について協議を進めて参りました。これは、財務状況の改善や事務局の業務の効率化を図り、今年度中に話し合い、来年度に統合を目指して、進めております。

また、福岡支部賛助会のご協力のもと、政治研究会立上げ検討委員会を発足いたしました。これにより、業界全体を正しい方向に進めていき、建築士事務所の業務の適正な運営と健全な発展に繋げていければと考えております。

世間では、免震ゴムの不正問題に続き、杭施工記録の偽装と、業界全体に対する不信が募っている近頃ですが、建築主および施設利用者への安心・安全を第一に、誠実な対応をお願いしたいと思っております。

お陰をもちまして、4年間福岡支部の支部長を務めることができました。皆さまの日頃のご厚情に感謝申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。



県南支部 支部長 山田 秀明

新年明けましておめでとうございます。皆様には新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平素より当支部の活動につきましてはご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

県南支部では1月の賛助会員様との新年会をはじめ、毎年恒例の行事で会員及び賛助会員さんとの懇親を深める機会が多くあります。要するにそれだけたくさん飲んでということ。肝機能やヘモグロビンA1cなどの数値を気にしながら、年々衰えてゆく体と格闘しながら今年も頑張っていきたいと思っております。

会員の減少になかなか歯止めがかかりませんが、1社でも2社でも会員の拡大に努力せねばと思っております。どうか皆様方のさらなるご協力をお願いいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお祈り致します。



大牟田支部 支部長 高巢 光男

新年明けましてお目出とう御座います。

昨年は東京オリンピックのエンブレム問題から、新国立競技場の整備計画決定迄という話題に振り回された半年だった。そしてその順序が前後になったのも珍しい。又「A案」だ「B案」だとTV局が賑やかに報道しては日本国中を二分させたという感触がないわけでもないが。結局「大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所 共同企業体」の案が僅差(610:602)で採用されたが、2019年11月の完成でその理由が明確になるだろう。

昨年の全国大会(茨城大会)で廻った「那珂川町馬頭広重美術館」や太宰府天満宮参道の「スターボックス コーヒー 太宰府天満宮表参道店」、又筑後船小屋駅前の「九州芸文館」、「長崎県美術館」等九州でも隈研吾氏の作品を見る事が出来る。

ここ大牟田支部に於いては昨年7月に「明治日本の産業革命遺産」の登録が実現されたが、人口減、高齢化率増が進む同市では久し振りに明るいニュースで元気付けられた。市でも色々な整備計画を立てているので我々も何かお手伝いが出来ればなと考えている。

昨年は「福岡県建築士事務所政経研究会立上げ」や「組織再編」が本部・支部共通の協議事項で委員会が活発に議論を重ねている。

矢張り次世代の通過点として今論じ合う「位置」に立っているのかなと考えさせられる。又今年「創立40周年」を迎えるべき準備の年でもあるし、改選も行われる。

今年の干支の申年が「見ざる、聞かざる、言わざる」でなく、積極的に、プラス思考で前進して行こうと思う。今年も会員・賛助会員の皆様方の御健勝と御繁栄を祈念致しまして新年の御挨拶に代えさせていただきます。

建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

一級・二級・木造建築士定期講習

●平成28年 2月 9日(火) 受付 平成27年12月1日(火)～平成28年1月21日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員200名】

※受付は (公社)福岡県建築士会 にて行います。

管理建築士講習

●平成28年 3月23日(水) 受付 平成27年11月18日(水)～平成28年2月29日(金)

会場 福岡建設会館7F 【定員28名】

《 お申込書の配布方法 》

- 1. (公財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ:<http://www.jaeic.or.jp/>

※平成26年度の申込書では受付ができません。必ず平成27年度の申込書をご使用ください。

- 2. (一社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

尚、申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。ご了承ください。

3

平成27年度研修ツアー（台湾）のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平成27年度 研修ツアーをご案内させていただきます。今回は台湾へのツアーを企画いたしました。建築や歴史的建造物を巡る行程となっております。皆様お忙しい頃かと思いますが、多数のご参加をお待ちしております。



- **日 程** … 平成28年3月4日(金)～6日(日)
- **集合時間** … 平成28年3月4日(金)福岡空港9時00分集合 10時55分発
- **研修内容** … 台北（中正紀念堂、總統府、龍山寺、国立故宮博物院、忠烈祠）
台中（建築関係視察、宝覺寺、孔子廟）
- **定 員** … 20名（定員になり次第お断りする場合があります。）
- **参加費** … 101,270円（県本部から参加者人数に応じて費用を補助いたします。）
 - ①費用には研修ツアーにかかる旅費、宿泊費、食事代、入場料、拝観料、ガイド料を含みます。
 - ②集合場所までの交通費、超過手荷物料金等個人的に係る費用、食事時の飲み物代は各自負担といたします。
 - ③お部屋は2人部屋になります。1人部屋ご希望の方は9,700円（2泊）追加となります。
- **取 消 料** … 下記取消料は出発日の前日からの起算となります。
 - ・ 31日前……………無料
 - ・ 30日前～3日前……………旅行代金の40%
 - ・ 前々日～出発前日……………旅行代金の50%
 - ・ 旅行開始後の無連絡不参加は旅行代金の100%
- **申込方法** … 参加される方は別紙申込書を**2月15日(月)**までに、(一社)福岡県建築士事務所協会事務局へ**FAX (092-473-7278)**でお申込みください。
- **問合せ先** … (一社)福岡県建築士事務所協会事務局 TEL092-473-7673/FAX092-473-7278
※ 参加お申し込みをいただいた方には後日集合場所、当日連絡先等詳細をご連絡いたします。

行 程 表

3/4 (金)	福岡国際空港 発10:55 台北国際空港 着12:35	空路、チャイナエアラインにて台北国際空港へ（所要時間：2時間40分） *ご到着後、専用車にて台北市内へ *その後、台北市内観光&ショッピング：免税店へご案内 （中正紀念堂～總統府：車窓～龍山寺～台北101展望台） *終了後、ホテルへチェックイン *夕食は『欣葉』にて台湾料理（個室） *夕食後、『士林夜市』夜店見学へご案内	台北（泊）	
3/5 (土)	台北 駅 発 09:30 台中 駅 着 10:19 台中 駅 発 16:35 台北 駅 着 17:36	*朝食後、台北駅へ *台湾新幹線にて台中へ（所要49分） *ご到着後、台中市内にて建築関係の視察 *昼食は台中市内にて郷土料理 *その後、台中市内観光へご案内（宝覺寺～孔子廟） *終了後、台中駅へ *台湾新幹線にて台北へ（所要1時間1分） *ご到着後、台北市内にて広東料理の夕食 *その後、ホテルへ	台北（泊）	
3/6 (日)	09:00 台北国際空港 発16:30 福岡国際空港 着19:35	*朝食後、台北市内観光へご案内 （国立故宮博物院～忠烈祠：衛兵交代式ご見学） *昼食は台北市内『鼎泰豊』にて小籠包点心料理 *その後、総合土産店へご案内 *終了後、空港へ 空路、チャイナエアラインにて福岡国際空港へ（所要時間：2時間05分）		

4

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

平成27年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。

今年度は高等学校の部4校より計50点、専門学校部の部3校より計49点のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月16日にアクロス福岡1F円形ホールにて行われました。
また11月16日～20日の期間、福岡市役所1階市民ロビー多目的ホールにおいて作品の展示会が開催されました。



経 過

平成27年	4月30日	関係校へ課題を通知、応募期限を9月30日とする
	9月30日	提出校、高等学校の部4校50点、専門学校部の部3校49点
	10月2日	福岡建設会館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
	11月16日	アクロス福岡1階円形ホールにおいて表彰式開催
	11月16日 ～20日	福岡市役所1階市民ロビー多目的ホールにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 河野泰治（一社）福岡県建築士事務所協会顧問
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育長
- 北九州市建築都市局長
- 福岡市住宅都市局長
- （一財）福岡県建築住宅センター理事長
- （公社）福岡県建築士会
- （公社）日本建築家協会九州支部長
- （一社）福岡県建築士事務所協会

協 賛

- （一財）福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県
- 福岡県教育委員会
- 北九州市
- 福岡市
- （公社）福岡県建築士会
- （公社）日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

今回は課題のテーマが難しかったためか、条件のハードルが高かったためか、参加校、応募者数が高等学校の部、専門学校部の部とも例年に比べ減少してしまいました。来年度以降、参加校、応募者数が増加するよう多くの方の意見をうかがいながら、親しみやすく質の高い設計競技となるよう委員会で検討を重ねてまいります。

応募作品は担当の先生方の熱意あるご指導のもと学生諸君が努力され、我々の要求を超える素晴らしい作品が多数みられ、未来へ明るい光を感じました。

建築士が減少し、次世代を担う若手の育成が課題となっている中で、この設計競技を通じて、学生諸君の設計意欲の高揚につながり、より多くの建築士が誕生するようお願い、設計業界の発展に努めていきたいと思っております。

最後に、公私ともご多忙のなか審査及び講評を作成いただきました河野審査委員長をはじめ、関係諸庁、各団体のご協力に心より御礼申し上げます。

一般社団法人 福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
委員長 田中 浩

平成27年度 課題

『共有スペースのある3家族の郊外型住宅』

計画趣旨

住宅は社会背景とともに変わり続けている。大家族から核家族、そして単身世帯へと変遷し世帯の単位人数が少なくなっている。家族という小さな共同体はいったい何なのか？これからの住まいの単位はようになっていくのか？標準的な家族が見えなくなった今、君たちにとって未来の共同体はどのような姿になっているのかを考えてほしい。

今回の課題は3家族が共同で住むということを自分たちの価値観で考えてほしい。そこには3家族がつながるための「共有スペース」を設定して交流を自然発生させ日常を豊かにしていく工夫をしてほしい。3つの家族は3世代にわたる血縁の大家族で構成してもいいし、趣味でつながるような仲間たちで考えてもいい。

君たちの未来にある「共同で住む」ことはどういうカタチになるのかを提示してほしい。

計画条件

- 1) 敷地
 - 面積……536㎡ / 162坪
 - 用途地域……第一種住居地域（容積率200%以下、建ぺい率60%以下）
 - 前面道路……前面道路9.5m、（車道5.5m歩道2.0m）12.0m（車道8.0m、歩道2.0m）
 - その他……ライフライン完備
- 2) 建物
 - 用途……集合住宅
 - 構造規模……木造2階建て以下
 - 延床面積……240㎡～360㎡まで
住戸サイズは50㎡（2人）70㎡（3人）90㎡（4人）を目安とする。駐車場は3台
 - 注意事項……コンセプトは簡潔に。どういう人が住まうかを明確に。
- 3) 提出図面
 - 用紙……当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し、横書きとする。
 - 提出内容……
 - ・設計コンセプトにふさわしい名称をつける。
 - ・配置図（1/300）：駐車場、庭の計画も含む（植樹、菜園等）
 - ・平面図（1/100）：1階平面図は配置図兼用可
 - ・立面図（1/100）：2面 ・断面図（1/100）：1面以上 ・外観パース
 - 条件……必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付は自由、着色は自由。
図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と
応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	32点
浮羽工業高等学校	〃	7点
博多工業高等学校	〃	4点
福岡工業高等学校	〃	7点
計 4校		50点

個人賞

● 知事賞	福岡工業高等学校	3年	佐藤 匠
● 福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	3年	桑島 直央
● (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	福岡工業高等学校	3年	釣崎 愛
● 会長賞	博多工業高等学校	3年	中村 咲彩
● (公社)福岡県建築士会会長賞	博多工業高等学校	2年	岡澤 葉太
● (公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡工業高等学校	3年	田中 大地
● 金賞	福岡工業高等学校	3年	久島 有偉
● 銀賞	浮羽工業高等学校	3年	立石 拓也
● 銅賞	浮羽工業高等学校	3年	熊本 誠也
● 〃	有明工業高等専門学校	3年	竹村 麻衣佳
● 佳作	福岡工業高等学校	3年	高田 好美
● 〃	浮羽工業高等学校	3年	原 湧人
● 〃	博多工業高等学校	2年	横山 天斗

(敬称略/順不同)

平成27年度 課題 『共有スペースのある7家族の都心型住宅』

計画趣旨

住宅は社会背景とともに変わり続けている。大家族から核家族、そして単身世帯へと変遷し世帯の単位人数が少なくなっている。家族という小さな共同体はいったい何なのか？これからの住まいの単位はようになっていくのか？標準的な家族が見えなくなった今、君たちにとって未来の共同体はどのような姿になっているのかを考えてほしい。

今回の課題は7家族が共同で住むということを自分たちの価値観で考えてほしい。都心には人口が集中しより過密化が進み、効率と利便性を主眼とした計画がコミュニティを疎外している。都心に共同で住むことが豊かになるには何が必要なのだろうか。ここではコミュニケーションのきっかけとなる共有スペースをもった共同住宅の新しい提案をしてほしい。

「共同で住む」というカタチが街をつくっていく。今後の未来をつくる君たちがどんな住み方を想定し提案していくのかを期待している。

計画条件

- 1) 敷地
 - 面積……………1289㎡ / 390坪
 - 用途地域……………第一種住居地域 (容積率200%、建ぺい率60%)
 - 前面道路……………幅員12.0m (車道8.0m、歩道2.0m)
 - その他……………ライフライン完備
- 2) 建物
 - 用途……………集合住宅
 - 構造規模……………構造自由・3階建以下
 - 延床面積……………450㎡～650㎡まで
住戸サイズは50㎡ (2人) 70㎡ (3人) 90㎡ (4人) を目安とする。駐車場は7台
 - 注意事項……………コンセプトは簡潔に。どういう人が住まうかを明確に。
- 3) 提出図面
 - 用紙……………当協会配布のケント紙 (B2サイズ) 1枚を使用し、横書きとする。(※ 貼付はしないこと。)
 - 提出内容……………
 - ・ 設計コンセプトにふさわしい名称をつける。
 - ・ 配置図 (自由) : 駐車場、庭の計画も含む。(植樹、菜園等)
 - ・ 平面図 (1/200) : 1階平面図は配置図兼用可
 - ・ 立面図 (1/200) : 2面
 - ・ 断面図 (1/200) : 1面以上
 - ・ 外観パース
 - 条件……………CGは可、模型写真の添付は自由、着色は自由。
図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と
応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	18点
福岡建設専門学校	"	24点
福岡デザイン専門学校	"	7点
計 3校		49点

個人賞

● 知事賞	福岡建設専門学校	2年	村瀬 義徒
● 福岡県教育委員会賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	松本 健作
● (一財) 福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	平田 純樹
● 会長賞	福岡建設専門学校	2年	甲斐 友彦
● (公社) 福岡県建築士会会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	岡本 公熙
● (公社) 日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡デザイン専門学校	2年	稲永 優輝
● 金賞	福岡建設専門学校	2年	久野 優子
● 銀賞	福岡建設専門学校	2年	樋口 敬一
● 銅賞	福岡建設専門学校	2年	永末 万季
● "	麻生建築&デザイン専門学校	1年	尾山 和佳子
● 佳作	福岡建設専門学校	2年	俵坂 咲樹
● "	麻生建築&デザイン専門学校	2年	田川 裕也
● "	福岡デザイン専門学校	2年	崔 香元

(敬称略/順不同)

■ 高等学校の部 課題

共有スペースのある3家族の郊外型住宅

■ 専門学校の部 課題

共有スペースのある7家族の都心型住宅

夫婦だけあるいは夫婦と未婚の子どもから成る家族が、社会を構成する基礎的な最小単位・「核」として、こうした家族を核家族という。核家族のうち夫婦に子供2人の家族が社会で最も多い家族形態だったことから、これを「標準家族」と呼んできた。しかし近年、標準家族は家族構成の典型ではなくなり、単独世帯や非親族世帯の数も増加してきた。同時に世帯あたり的人数も減少し3人を割っている。

このような家族形態の多様化は、共働きや自宅労働(SOHO)など働き方や、洗濯、調理などの家事、育児、あるいは介護の外部化・社会化などが相まって、住生活は家族によって極めて多様になり、住宅のあり方も、一様には全く考えられなくなってきた。さらに省エネルギー化、住環境やコミュニティとの関わりなど、住まいと地域、都市とのつながりへの配慮も欠かせない。一方では共同住宅に限らず、戸建て住宅においても、家の周りの人々さらにはお隣さんとの関係を断ち切って、家族内だけの「閉鎖的な住生活」が進行している。

そこで本計画課題は、こうした家族形態や働き方、住まい方など、今日的な住宅計画に関わる根本的な課題に対する将来像・形を求めた。条件として設定した住宅は、共有スペースを持ついくつかの家族の集合体である。つまり、もともと互いに気心の知れたもの同士が暮らすことになる集合住宅ということである。高等学校生に対しては、共有スペースの計画がメインテーマであるが、専門学校生に対しては、都心での豊かな共同生活の形を求めるというむづかしい課題である。

応募作品は、出題の狙い・期待に充分応えてくれたと思う。ことに、専門学校生の上位入選作品は、創作課程の努力の積み重ねが、図面の密度・詳細さとともに、作品の品格にも現れていることが読み取れた。

本設計競技での選考の基準を、私は次のように考えている。

- ・コンセプトについて：歴史・文化・社会との関連、地域環境への適合性
- ・デザインについて：意匠、構造などの建築技法の造形力
- ・プレゼンテーションについて：設計意志の固定(デザイン・設計)と伝達(ドラフト・製図)の技法、表現力および完成度
- ・オリジナリティについて：設計全般にわたる独創性、想像力と発展性

応募は高等学校生の部50点、専門学校生の部49点。審査は福岡県建築士事務所協会の審査委員13名による一次審査で設計・製図の基本と応募要件をチェックし、全てを二次審査対象として選出。二次審査委員は、県の建築都市部、教育委員会や北九州市・福岡市などを含む県内の建築団体の役員8名の特別審査委員を加えた21名。審査委員の推薦数の多い上位作品について、協議によって受賞作品を決定した。

高等学校の部 総評

3家族の郊外型住宅について、共有スペースを導入し、工夫することによって、集合した3家族のつながり、楽しみ、豊かさを形で示してほしいという課題である。

共有スペースそのもののデザインと住戸との繋ぎ方に個性あふれる多彩な提案が見られた。金賞、銀賞、銅賞を含めて入選作品は、いずれも個性的な造形を美しい図面表現で丁寧に仕上げられている。とりわけ上位入選の3作品は、しっかり課題に向き合い、捉えた内容をうまく整理して、丹念にエスキスを繰り返し、主張点のデザインに創意をこらして、高密度であるが巧みに整理された美しい1枚の作品に仕上げている。

専門学校の部 総評

的確に課題を捉え明快で美しい仕上げの作品が目立った。とりわけ上位入選作品は、次のような点に特に優れている。課題分析——家族関係・住戸の配列、組み合わせ方、与えられた敷地周辺の公園、建物との調和、街並み・コミュニティとの関連、あるいは都市の変化との対応。

ポイントの絞込み——働くこととの関連、周辺環境との繋ぎ方、関わり合い、そして創造的・造形的主張、プレゼン。

受賞作品紹介

— 専門学校の部 —

知事賞

《福岡建設専門学校 2年》 村瀬 義徒



縁コレクティブハウス

～人と人を結び都市へと広がる円～

円形配置により結ぶ

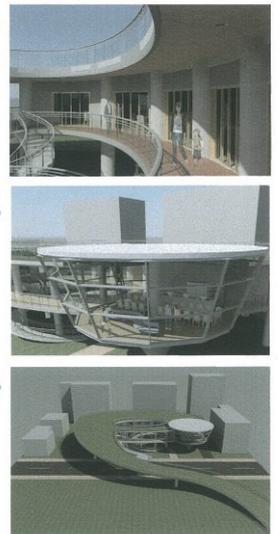
住戸の配置を平行に仕切るのではなく緩やかな円形で配置することにより周りの住民の気配が自然と感じられ、住民同士に一体感が感じられるように配置した。
さらに、住戸のエントランスを開放的な建具とすることにより、気軽に縁側へ出るような感覚で共用地下とつなげ数個となるものを取り除き、住民同士の結びつきが深くなるように計画した。

円形共用空間により結ぶ

住民全体の共用空間を作ることにより住民同士の活動が活発に行われる。
また、周囲を円形のカンテールにしたことにより各住戸から共用空間の様子が見え、周囲を訪れた人からも様子を感じることができ、住民だけでなく住民を導いてきた、公園を訪れた人々を結びつける共用空間とした。

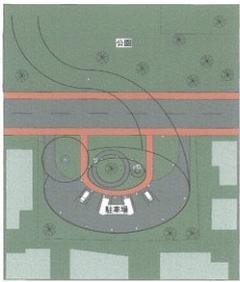
橋により結ぶ

公園と縁コレクティブハウスの屋上庭園を橋で結ぶことにより公園が延長され公園を訪れた人が屋上庭園へ気軽に足を運べるようにし、住民も気軽に公園へ足を運べるようにした。住民も気軽に公園を訪れた多くの人と住民とが縁で結ばれる機会を増やした。

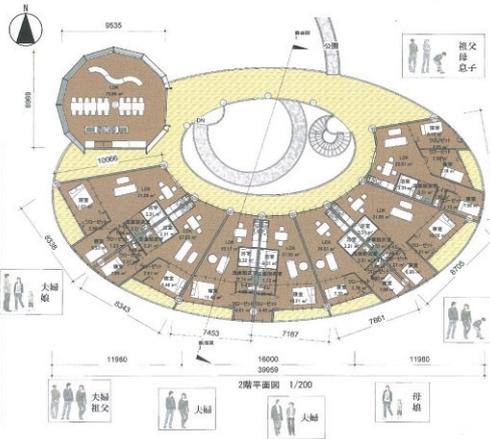


家族について

これからの日本は少子高齢化と人口減少が予測され高齢者は2030年には全体人口の約3割が65歳以上に達し、少子化についても進行していくと予測される。人口減少については2040年には全体人口が一人をきると予測されている。
家族の形態についても雇用や社会の様々な問題により多種多様な家族が増えていくと予測される。

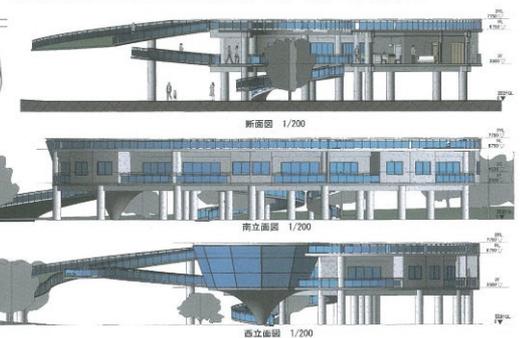


配置図兼ピロティ平面図 1/600



都市との関係

本来、遮断されながらも内部空間と外部空間だが人と人との関係まで遮断しているように思える。そのため、縁コレクティブハウスでは内部空間と外部空間を結ぶ空間を計画した。
都市部では人の往来も多く、縁コレクティブハウスのように開放的なプランでは住民のプライバシーを失つのは難しく住民同士の活動にも影響するだろうと考えた。そこで、住戸と共用部をピロティにより持ち上げることにし、より緩やかにアプローチが確保でき、住民同士の活動が活発に行われるように計画した。その活動がピロティと橋で外部と結ばれることにより、人と人との関係が縁により結ばれ都市へと縁の門が広がる。



知事賞 福岡建設専門学校 2年 村瀬 義徒

一般社団法人
福岡県建築士事務所協会

講評

「縁 コレクティブハウス」～人と人を結び都市へと広がる円～。互の気配と一体感の醸成、開放性を目指した円形の住棟に放射状の住戸配置、公園から連なる緩やかな斜路。これらの仕組みと構成、造形・プレゼが一体となって、目標を実現する力強さに満ちている。設定したテーマの確かさがリアリティをも生んでいる。

受賞者コメント



この度は、福岡県知事賞という名誉ある賞を頂き、誠に光栄に思います。競技設計の制作にあたり、協会の関係者の皆様、ご指導いただいた先生・講師の方々には厚くお礼申し上げます。
今回の課題に対し「縁コレクティブハウス」を提案しました。全体の形を円形状にすることにより、人と人の間に心地よい距離、時間、空間が生まれ、住民同士を結び、そして社会へとその円を広げていけるような計画にしました。無縁社会と呼ばれる社会が、縁で溢れた社会になるよう、これからも建築の無限の可能性を信じ、日々精進していきたいと思っております。

福岡建設専門学校 夜間建築科2年 村瀬 義徒

第10回 常任理事会議 記録

日時 平成27年12月10日(木) 13:30~15:00

会場 一般社団法人 福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局9名参加

1. 協議事項

- ①第4回理事会の進行、説明担当者、議題の確認について
- ②「建築士事務所政経フォーラム」会費納入について
- ③自民党県議団からの政治資金規正法に規定する政治資金パーティーのチケット購入依頼について
- ④平成28年秋の叙勲候補者及び褒章候補者の推薦について
- ⑤平成28年建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について
- ⑥各種要望についての交渉分担
 - ① 福岡県建築登録センター業務の運営の健全化と効率化に向けての要望について
 - ② 確認申請手数料の協会会員への低減サービス
確認申請手数料の協会会員への低減サービスについて、早急に確認検査機関で下打ち合わせを行い好感触であった福岡県建築住宅センター及び九州住宅保証に対し、会長名で要望書を提出することとする。
 - ③ マンション建替型総合設計制度の活用による「階段室型老朽マンション」建替の推進についての要望
- ⑦平成27年度見学・研修ツアー実施について
平成27年度見学・研修ツアーについて3月4日～6日に台湾方面で実施し、現地の建物の見学を行なう旨説明がなされた。なお、定員は20名で、参加者への補助金については1人あたり5,000円を予定しており後日会員へ案内することが説明され承認された。
- ⑧福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技に関する応募校からの問合せに関する対応について
- ⑨会員委員会、女性部会、青年部会からの提案、要望について
会員委員会より、県本部賛助会員の商品PR及び会員との交流を行なう場として、建築士事務所キャンペーンの中での開催についても検討されたが、キャンペーンは基調講演、学生コンペ表彰式等のイベントがありPRする時間がなくまたPRする場として相応しくないため、キャンペーン後の懇親会の前の実施や女性部会、青年部会勉強会の際の実施及び単独での商品説明会の実施等今後組織再編検討委員会で県本部、福岡支部賛助会の位置付けを検討する際に合わせて協議いただくこととする。
また会員サービスとして、西日本シティ銀行と締結している住宅ローン割引サービスの周知活動と他行へのサービス依頼の検討及び建築士定期講習の受講対象の年の受講通知サービスを常任理事会での検討をお願いしたい。
青年部会、女性部会からは、当該部会は所員の参加が多く各種勉強会、見学会への費用の個人負担に限度があるため次年度以降予算の増加のお願いがなされており、勉強会、見学会が会員事務所に還元される内容であれば前向きに検討していくことが決定した。また女性部会からは理事、委員会委員に女性が少ないため複数の方に入っていただけないか提案がなされ、次年度の役員、委員改選の時に検討していくこととする。

■ ⑩基礎施工関連相談窓口設置について

日事連から依頼がなされているマンション等の基礎工事に関する相談への対応について、本日開催された設計三団体意見交換会において協議され、設計三団体共通の相談窓口として当協会に対応していくことが決定した旨報告がなされ、後日福岡県に報告する旨説明がなされた。

■ ⑪「2015年構造設計Q&A集講習会」の開催について

日事連で新たに10月に発行された「2015年構造設計Q&A集」をテキストとした「2015年構造設計Q&A集講習会」開催についての協力依頼が日事連よりなされている旨報告がなされた。協議の結果、今年度は他の講習会、研修会及び事業の予定が入っているため来年度開催することが決定した。

■ ⑫平成27年度九州・沖縄ブロック協議会第2回会長会議開催について

九州・沖縄ブロック協議会事務局の大分会より、平成28年1月19日（火）福岡建設会館会議室において第2回会長会議が開催される旨案内が届いていることが説明された。福岡での開催となるため、会長、副会長、常任理事に案内し、出席いただくことが決定した。

■ ⑬日事連理事秋野卓生弁護士福岡事務所開設記念講演会への後援及び法律顧問契約について

日事連理事である秋野卓生弁護士が代表を務める匠総合法律事務所が10月に福岡市に事務所を開設し、開設記念講演会を開催するにあたり当協会に後援の依頼がなされている旨説明がなされ、協議の結果、後援することが承認された。

■ ⑭篠原公認会計士事務所への記帳代行業務契約見積書について

■ ⑮関係団体賀詞交歓会参加者について

■ ⑯一般財団法人あんしん財団からの紹介代理所制度への依頼について

各種保険、福利厚生事業を取扱っている一般財団法人あんしん財団から当該財団で取扱っている保険等へ加入者を紹介した場合、1名につき3,000円の紹介手数料及び紹介人数に応じたインセンティブ手数料を受取る紹介代理所制度の契約締結の依頼がなされている旨説明がなされ、協議の結果契約締結が承認された。

■ ⑰事務局冬期休暇について

2. 報告事項

■ ①日事連関係報告

① 平成28・29年度日事連会長候補者の一次推薦について

3. その他

■ ①建築士事務所キャンペーンのスクリーンの配置について

県南支部会員より、11月16日開催のキャンペーンの時に席によっては、スクリーンが見え辛い箇所があったとの指摘があり、今後アクロス福岡円形ホールで実施する際は改善していく。

■ ②今後の会議スケジュール

① 新年挨拶廻り

平成28年1月8日(金)9:00～ 福岡県建築住宅センター、県庁

② 常任理事会

平成28年1月13日(水)15:00～ 事務局

北九州支部からのお知らせ

12月定例幹事会議事録

- 日 時** 平成27年12月12日(土)18時より
- 場 所** 小倉飯店
- 参加者** 林支部長、高崎、山本、高尾、小野、川野、川原、久保、山口、渋谷、吉永、高嵩、瓜生、佐々木、望月、久松、三村、藤本、阿武(総合資格)、平田(信和鋼板)、久我(西部ガス)、佐藤(セーフティー地盤)、鷺池(イトー技建)、岩本(津上産業)、野満(咲楽スペースクリエイツ)



議 事

- ▶ 1. 北九州支部冬の例会が北九州の小倉飯店で開催されました。
参加者は 会員18名＋賛助会員7名＝25名



- ▶ 2. 平成28年北九州建築六団体合同賀詞交歓会の件
事務所協会の参加者は33名となっています。
- ▶ 3. 次年度支部の役員選考委員会の件
選考委員会を年明け早々に立ち上げ、準備をします。
- ▶ 4. 政治研究会の中間報告の件・組織再編検討の中間報告の件
1月26日火曜日に北九州にて県本部の常任理事会が開催されます。
場所は会員事務所の(株)アースコーポレーションです。大変重要な会議ですので
会員の皆様の多数の出席をお願いします。
- ▶ 5. 県本部の2月13日開催の女性部会研修の件
林支部長より経過報告がありました。
- ▶ 6. その他
北九州支部の役員の若返りを検討します。

筑豊支部からのお知らせ

三役会・幹事会のお知らせ

三役会

- 日 時 ……平成28年1月21日(木)17時～ 予定
- 場 所 …… 樹
- 議 題 …… 平成28年29年度会長候補者の推薦について
政治研究会立上げ検討委員会について
組織再編成検討委員会について

第 3 回 幹 事 会

- 日 時 ……平成28年1月21日(木)17時30分～ 予定
- 場 所 …… 樹
- 議 題 ……平成28年29年度会長候補者の推薦について
政治研究会立上げ検討委員会について
組織再編成検討委員会について
退会・新会員について

福岡支部からのお知らせ

福岡支部 三役会・役員会開催のご報告

下記のとおり、第6回三役会・第4回役員会を開催いたしました。

- 日 時…………… 平成27年12月7日(月)
【三役会】15:00～ 【役員会】16:15～
- 場 所…………… 【三役会】建設会館 5階 事務局会議室
【役員会】建設会館 7階 702号会議室
- 議 題…………… 1. 入退会について
2. 各委員会活動報告
【会 員】
 - 第1回建築倶楽部新年の集い準備会議報告
 - 建築倶楽部新年の集いについて【事 業】
 - 10/29建築関連法規の改正等講習会開催報告3. その他
 - 中間監査
 - 平成27年度建築士事務所キャンペーン開催報告
 - 会費未納状況報告4. 県本部よりの報告
 - 政治研究会立ち上げ検討委員会および組織再編検討委員会 報告



県南支部からのお知らせ

賛助会との懇親会のお知らせ

1/15(金)広報・渉外委員会担当により、賛助会員との懇親会を開催します。
会員の皆さん、賛助会員の皆さんとの親睦を深めて頂く為に企画しております。
ご多忙中とは存じますが、是非ご参加下さい。

スケジュール

- ▶ 日 時 平成28年 1月15日(金) 18:30～
- ▶ 場 所 ウエディング シンシア
- ▶ 会 費 1人3,000円(2人目以上は、4,500円)

※幹事の方は、午後5時00分～役員会を行いますので宜しくお願い致します。

大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

日時・場所 平成27年 12月21日(月) 18:30～ 事務局 会議室にて

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 報告事項

- ① 11月25日(水) ●TOTOセミナー(大牟田労働福祉会館)
出席者:永江、高巢設計
- ② 11月26日(木) ●第2回会員委員会(本部)
出席者:荒木相談役
- ③ 11月28日(土) ●平成27年度空き家利活用セミナー in 大牟田
(イオンホール) 出席者:高巢設計
- ④ 12月 9日(水) ●第3回女性部会(パナソニックリビング)
出席者:李
- ⑤ 12月10日(木) ●第10回常任理事会
●第4回理事会
出席者:高巢
- ⑥ その他 ●12/7(月)新年会案内(12/26迄)
●1/8(金)県庁・九州整備局新年挨拶(高巢)

■ 2. 協議事項

- ① 新年会について
- ② 役員改選について
 - ・各支部より会長候補者の推薦(平成28年2月5日(金)まで)
 - ・選考委員会(平成28年2月26日(金))
- ③ 平成27年度行事計画について(1～3月)
- ④ その他



次回幹事会 : 平成27年 1月 9日(土) 18:00～ 漁師村(新年会会場)

7

会員動静

新入会員のご紹介

事務所名 松村一級建築士事務所

筑豊支部に入会されました

■会務代表者：松村 一弘 ■所在地：嘉麻市上西郷

事務所名 Found Fabric Factor 二級建築士事務所

福岡支部に入会されました

■会務代表者：田中 幸伸 ■所在地：福岡市中央区

事務所名 (有)西田建築設計事務所

筑豊支部に入会されました

■会務代表者：西田 典理 ■所在地：嘉麻市平

会社名 (株)ジオ

福岡支部賛助会に入会されました

■担当者：堀尾 良二 ■所在地：福岡市博多区
 ■営業種目：測量計測情報・空中撮影(セスナ・ヘリ)航空写真測量・各種実地測量登記・敷地測量・地理情報システム
 計画設計調査・土木設計全般・開発申請・構造物設計・工事施工監理業務・補償調査・地質調査

<http://www.geo-fukuoka.co.jp>

会社名 一般財団法人 建材試験センター西日本試験所 福岡試験室

福岡支部賛助会に入会されました

■担当者：村川 修 ■所在地：糟屋郡志免町
 ■営業種目：コンクリート、鉄筋などの施工管理試験、品質試験

<http://www.jtccm.or.jp/>

会社名 (株)東建ジオテック九州支店

福岡支部賛助会に入会されました

■担当者：帖佐 幸信 ■所在地：福岡市中央区
 ■営業種目：建設コンサルタント・地質調査・測量

<http://www.tokengeotec.co.jp>

会社名 セイキ販売(株) 福岡営業所

福岡支部賛助会に入会されました

■担当者：守田 祐樹 ■所在地：福岡市博多区
 ■営業種目：建築建材（窓まわり断熱・省エネ商品・合成木材 他）

<http://www.seiki.gr.jp/>



今月は

理事

高崎 徳彦さん（(有)アインズ都市工房）



編です



新年あけましておめでとうございます

昨年は建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞致しました。これもひとえに協会の皆様のおかげでございます。感謝申し上げます。皆様より「奥さんのおかげだね」と散々言われそうでしたので、昨年は2度も旅行に連れていきました。5月に金沢・善光寺・アルペンルート・黒部ダムの旅、10月に高野山・熊野本宮大社・熊野古道・伊勢神宮の旅、天候に恵まれ奥様孝行をしてみました。



さて、60数年住んでいるわが遠賀町についてお話をさせてください。遠賀町は霊峰 英彦山を源に持つ遠賀川の下流に開けた遠賀平野の中心に位置し、東西約5km、南北約9kmに広がり、総面積22.14km²を有しています。田園風景の広がる水と緑の街です。また、北九州都心まで直線距離で約18km、福岡都心まで約38kmの位置にあり、町の中央をJR鹿児島本線、国道3号線が通っていることから、交通の利便性が高い立地条件となっています。

現在、遠賀川駅南地区まちづくり構想で約60haのエリアの開発に取り掛かっており、昨年4月に駅南への幹線道路が開通いたしました。用途地域が第一種住居専用地域でありインフラ（上下水道、電気等）整備もなされていません。そこで今、区画整理の準備組合を立ち上げ、地権者と行政が一体となり開発計画進行中です。同時に用途地域の見直しも行わなければなりません。

当初から60haの整備は規模・予算的にも難しいと判断致し、本年度は地域を絞り込み、30～40haで確定する予定です。区画整理事業ですので、地権者が土地を出し合い、道路、公園、水路、インフラ整備を保留地の売却費用で行わなければなりません。

来年度より、絞込みした区域で基本設計、工事費の算出、減歩率(地権者の土地の減る率)の確定と同時に進出企業のヒアリング等を行い、地域に対する意向調査も行わなければなりません。地権者(約100名)の同意、進出企業の確定があって、区画整理組合の発足、工事着手になります。構想が固まりましたら、会員の皆様にも、企業等の情報の提供をお願い申し上げます。

本来の仕事をしながら、ボランティアでやっています。大変な労力を要しなかなか苦勞が絶えません。まだまだ先の見えない構想ですが、携わった以上はやりがいのある事業なので、健康に留意し、最後まで見届け完成させたいと思っています。

遠賀川駅南地区現況図(2016.1.1)



将来遠賀川駅南地区整備予想イメージ図



10年後、ぜひ遠賀川駅裏を觀に来てください。もし現在のままでしたら開発計画が消滅した…と
思ってください。

本年もよろしくお願い申し上げます。

書籍のご案内

法改正に合わせて新しい書籍が発行されました。ぜひ業務にご活用ください。

建築士法による重要事項説明のポイント

建築士事務所協会会員 ⇒ **1,263円**

一般 ⇒ **1,404円**

平成27年6月25日の法改正に合わせ、既刊「改正建築士法による重要事項説明のポイント」が改訂され、「建築士法による重要事項説明のポイント」として発行されました。契約に至る流れの中で、重要事項説明(法第24条の7)、契約(法第22条の3の3)、書面の交付(法第24条の8)の関係を法改正に基づき丁寧に解説しています。



改正建築士法による設計受託契約等のポイント

建築士事務所協会会員 ⇒ **1,458円**

一般 ⇒ **1,620円**

書面による契約を行う場合に、書式や手順等、再委託をはじめとするさまざまな対象業務を解説し、記載例や法定事項の記載などについてのQ&Aを掲載しています。



事務局より

新年明けましておめでとうございます。本年も当協会をどうぞよろしくお願い致します。

さて皆様、今年の初夢を覚えていらっしゃいますか？今回は初夢のお話を少し。初夢は一般的には**1月1日～2日にかけて見る夢**と言われています。夢の語源は「**寝目(いぬ)**」。古来から神仏から与えられる神聖なものであるとされてきました。中国では猿の絵を枕の下に敷き悪い夢を食べてもらう風習がありましたが、それが日本に伝わって形が変わり、一年の吉凶を初夢で占う風習になったとか。室町時代からは良いことがあるようにと、新年に**七福神の乗った船の絵**を枕の下に敷くようになりました。江戸時代にはこの風習が広く浸透し正月には七福神絵が飛ぶように売れたそうです。絵の中には「**永き世の遠の眠りのみな目ざめ波乗り船の音の良きかな(なかきよのおのねふりのみなめざめなみのりふねのおとのよきかな)**」と書いてあり、前から読んでも後ろから読んでも同じになります。これを3回唱えて寝ると良い初夢が見られると言い伝えられてきました。もしも不吉な夢を見てしまった時は「午前中のうちに他の人に夢の内容を話してしまう」と、その夢は実現しないとされているそうですよ。



初夢といえば「**一富士二鷹三茄子**」。この語源も様々で、徳川家康に縁の深い駿河(静岡県)の名物を並べたとする説や、**富士=不死**、**鷹=高い**、**茄子=成す**という語呂合わせから来たという説も。特に「富士山」は夢の中でくっきり見えるほど縁起が良いとのこと。この言葉の後には「**四扇五煙草六座頭(しせんごたばころくざとう)**」と続きます。**扇**は末広がりの縁起良い形から。**煙草**は煙が天に昇ることから運氣上昇を。**座頭**は剃髪した琵琶法師=毛がない(怪我ない)という語呂合わせから。どれも夢に登場させるには難しそうですが、今年見られた方はいらっしゃいますか？

さて初夢も見ずにぐっすり眠ってしまった…という方に。昔は立春が正月であったため、もともとは節分の夜に見る夢を初夢と呼んでいました。平安時代の末期の『山家集』では西行法師が「**年くれぬ春くべしとは思ひねにまさしくみえてかなふ初夢**」という歌を詠っています。元旦の初夢を見損ねた方は、節分の夜の夢に注目してみるのもいかがでしょう。2016年が皆様にとって良い年になりますように。

(事務局：上杉)